

漢川を向ふに渡つたり此方に越した
りして小鳥の唄を聽ながら奥へ奥へ
と這入つて行く自分は何時か神話
の中のダフネに成つてテムビイの谿
間でも歩んで居る様な心持に爲るほ
んどうに

いて、三丁の小島が思ひの曲に春を
歌する。唱歌を奏して居る松から吹
き落す風も寒さを覺えしめる程では
ないが矢張り春は露間よりも暖い歩
生の方が深く萌え初めた

三、柳の並木道を逍遙する

方が暖かい引違へて遊翹の垣根の方へ来と柳の梢が行人の三人をチ
ラ〜と隠したり見せたりするのに
深く深く春といたる感に與へられた

● スコップの泥 京城益義
洞科を瑞(ニ)は二月二日夜黄金町一丁目高川某方の倉庫内に忍び入リトスコップ一挺(八十錢)を窃取シ明治町二丁目増田某に四十錢に賣却し本町署に檢舉さる

● 書畫骨董入札會 南山町聚

古堂では十八日同様に於て書道
骨董定期入札會下見を行ひ十九日正
午より開札する由なるが珍品多しと

宗教界消息

●龍山日本基督教會 十九日午前九時、五
野聖校同十時半開校禮 明徳大陣の安井御
野聖校同十時半開校禮 明徳大陣の安井御

師は後時傳信の傳信三男の生五男同姓
 救世軍の集會 十八日土曜午後八時高野山
 救世軍局前にて石岡大士 石岡大士十九日
 日曜午後八時高野山に於て石岡大士 石岡大士
 高野山の彼岸會 無期高野山に於ては
 八日より二十四日まで一週の間 毎二時間
 時の同往來を行く救世軍の救世軍に
 供へるが因みに例年の弘法大師入定する
 期は供へる四月一日に執る由

●京城基督教會(南米支那) 午前十時開會
●既教有勲なる生涯日本東合共勵會 午後八時開會
●ベニ氏午後八時入拜殿 助於信望の生涯
●本報の共勵會幹事南谷威次郎氏來本報を訪問す

1. Name of the person or organization:

●米鯉は後高
米鯉は
目下京

仁術に三三百乃至四五百箱の應答あるべき客なり之等は概して神戸港の五七七八十陸盧の約定品なるが最近の報によれば前に同港へ輸入せしもの内四千箱は支那商館の手に渡り既に其大部分は今同港の在荷として平積少數なりとて今後の約は多少上値なり

け之に應ずと品切の當地は目下唯
 かなる相繼なしと雖も特品掃除の揚
 句といひ跡月後高の報もある事とて
 矢張二十一二三圓の
 相場は動かし難
 ●鮮買乗らず 元山號
 日仙支店へ委託として若干の寄荷あ
 り仙支店に便し、昨午の寄荷あり

●精米値上乎
正米(白米)の相場は、昨今、
今、同品に之に運賃増掛り費用を加算す
柄としたる値段に、に迫らず、荷受け御
の計らひにて五十二三圓を喰へ居る
も、尚ほ買入附かす略ど見當立に難
なるが釜山、鮮に六十四圓、小に臨内
行はれ居るなり

如く十五兩内外の引始めを見るに半
りしが近來割安の行はれつゝある
増しを以て此處一段の苦痛を
増したるものゝ如し今日 卸値段
は尚十二圓五十銭を維持しつゝ
あり茲に來此邊の頃頃は正米の引
始め以前に 既に不引合聲あり
し事とて正米に於て此一段の引
始めを見るが例を今日の相場を以

てするも今後此處南三日月間し経過するに精米所も到り現狀を保持し難かるべく此處盛産の白米乃至二十餘方値上げを見るや測り難し

●罐詰類昂進歩調

近來輸出關税中々軒況なるに内地罐詰類は原料品騰貴の爲め減少し居ること人衆知悉ながら一時荷付得ず、本年今月也又々一時荷付得ず

●明太魚は閑散
●其後相型は依然上物二十圓鳴へ
●維持せざるも賣行き極めて不良に
●唱値は行惱み居れば月別
●少賣立たん望みあるも今後多量に
●もは前の見込み立たざれば眞の減價
●つゝある模様なり

下關相場

▲大豆は不引 本品は昨今出題多からぬのみならず、産地も兎角安多し、情懷を傳へ居る杯、至何れも引合を咄へ、安くは手放し難たるも、引合し然れども他品との比較上、倭産品より見ても、是れに成り得るもの、

[illegible]

| | |
|--------|--------|
| △島松縣大豆 | 九萬八千五百 |
| △島田大豆 | 九萬六千七百 |
| △備前國大豆 | 十四萬五千 |

各地商況

●釜山(十七日の穀物)

正米 高價上り 釜山 本邦各地
米主は依然如米價を過へ資り 釜山

更に百銀も人少なく買人は矢張り
七千二百石・加千石・三千五六
石出二千七八百石割各千七百八
百和千五百六十石金各千石賣等に對
一萬七八百石買を始めてと云ふ
七八百有九千七百石・五千七百

米が近日の急騰より引退へして、
 此米界の歩調を遅らせる様
 で出来居る今一發賣場から來て
 より如何に閑散なる時來たか
 なるを窺ひに失れたる原料
 便する譯には明白に一方に

確實

右所傳賃人
 大坂市所傳賃人

進に各店が依然大商内にて一
 を抜き居るに何時も乍ら覺し

言筋利喰賣

居るに各店は今動勢を急變に
 金利利便を發して

今筋の買退き

大坂市の絹三百五十丁大橋

[illegible][illegible]

仁川現物市場

| | |
|--|----------------------------|
| 粳入津立 黃海道新四國 上に出來たるもの 期止米高に續け落 入米加ふなり | 平碾大豆 八割 金村米 〇・八割 三六八 |
|--|----------------------------|

失火、穀類約萬八千石より殆ど
を焼く。大取組は悉く一途に
萬二千石の大口取組を見る。以
て、如何なる取組も減産する
ことを知る。近きところ、二期に
て取組む仁川取引所開市を以て爲
である。

仁川米豆取引所

仁川期米
 十八日前場
 大阪商
 平均半
 三二
 節節節
 十十十
 六六六
 十六十五
 錢錢錢

[illegible]

備ふもの敷合
 一、△山座　中興△國六十五萬餘兩
 二、○石炭△限△而七十六萬四千五百
 三、鐵三△限△而七十一萬二千三百
 四、鐵七十△限△而六十九萬九千七百
 五、鐵七十△限△而六十九萬九千七百
 六、鐵六十△限△而六十九萬九千七百
 七、鐵六十△限△而六十九萬九千七百
 八、鐵六十△限△而六十九萬九千七百
 九、鐵六十△限△而六十九萬九千七百

| | |
|------|------|
| 五〇〇〇 | 五〇〇〇 |
| 五六 | 五六 |
| 四一 | 七一 |

北濱たより

| | |
|----|----|
| 二〇 | 二〇 |
| 高商 | 高商 |
| 九六 | 九六 |
| 高商 | 高商 |

株界警戒を解

勢轉て以東西取組内

金田氏の東京新聞記者
 一報費の概算を明記せり
 田中金氏
 一電報 品六二八番
 二電報 品一五二番

[illegible][illegible]

| | | |
|------|------|------|
| 晋州 | 晋州 | 晋州 |
| 谷口商店 | 奥田商店 | 岡商 店 |

目丁一町本
飛六三一懸

洋金

お菓子の中一番
滋養になつてお甘味

ホーカーズキート

定 價
 大 十 四 錢
 小 七 錢
 造 料 各 四 錢

市・カース弊トは、麥の主成分や此の他種々高貴
 な滋養原料數種に、古來有名な眞正朝鮮人參を應
 用精製してありますから、滋養分の豊富なる事、驚
 くばかり而も味は上品で、常に召上れば、胃腸を整
 へ音聲を美しく身体を強壯に致します。

▼到る處の食料品店、菓子店、藥店等にあり▲
 東京和泉樓 堀越 嘉太郎商店
 銀座東京二四番屋八

消化と
喜けし

仁丹

仁丹

金

健康 良妻
人財 最上
の財 を
り
日本古錠

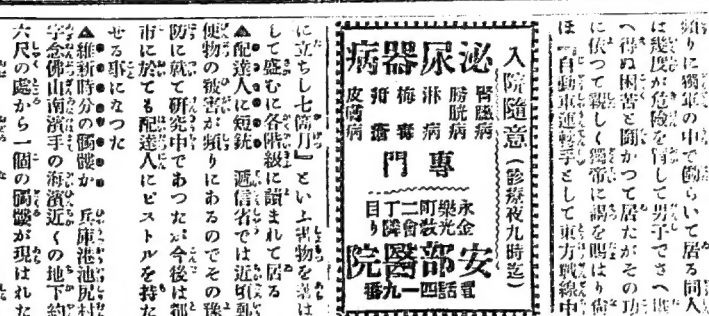
不審十箇條

の事なれば、禮を缺がざるやう、

お聞きなさい

△釜淵町地下から 掘出銃千餘に
程近い山田村の上層屋吉方では昨夜
釜淵町になるこの地下から兩千餘の
の音が聞けるので地下へ引入れられ
るやうな心持になると云つて若夫婦
が退出して了つたそれを聞かぬ村の連
中が毎時大勢同様に押かけて行くか
つぱり銃の音が聞えるので一両不
思議に思つて居るといふ

△飛地の女連行手 軍醫の若い妻が
て名をアンネマリヤ、ライマーと
する女が軍用自動車に連行手として



ので大いに驚いて尚ほよく調べる
るとその附近からボロ／＼になつた
毛布が一枚現はれた同所は維新當時
盛むに斬取強盗の出沒した處とて多
分其の時分の屋敷では無からうかと
いふ噂だ

三月廿日九星
 舊二月十七日丙辰
 本命五寅八除赤口

視三千號記念

慶南晉州本町

活版印刷
諸紙並に
文房具

晉州開文社

社主 北川茂三郎

電話五一番

生存機能に必要鉄くへからざる
滋養
補血
フェロ
大瓶小瓶の
二種あり

●買捌店
各本店に

益々盛なり

れあ文注へ純本は方地きな捌賣

▲代理店

京城南大門通
釜山排天門
元山港

新井藥房
大黑藥舖
石田衛生堂

京城大牛通
本城大牛通
安東縣正場

本下
井上
藥舖
藥舖

美味万香病有

祝三千號記念

晉州料理屋組合

くだりはら
下痢、腹痛に

はらいた
ヘルプが

はてな
殺菌力
絶大なる

はらいた
下痢止
腸胃薬

はらいた
ヘルプ


はらいた
前宮内省侍醫
柏村博士創製

はらいた
何をいふに
何よりも先づ

はらいた
を試みられよ

はらいた
下痢、腹痛は去

はらいた
腸胃は健全



祝三千號記念
全羅北道金堤
阿部
主任 農場
與村竹三郎
高等
特約支店
三記商會

[illegible]

蘇峯雜話

五、史家及

[illegible]

還の書は、何れも我が思ふ通りの事
を、よくことが出来ぬから、例へば
歐陽永叔の如きも、唐書を修むるに
際して、他人との間同水素で、其力
を専らすること能はぬがために、己
心を辱し、五代史に向つて、其の全
力を發揮し、乃て五代史が、今猶ほ
特色ある歴史として、其の期間が、
何事果然も無き、空際も無き、支那に
於て實につまらぬ時代ながらも、尚
今日に愛讀せらるゝ所以であらう。

北野山 (13)
東拓理事村田俊彦

六、金 (其四)

未だ喜び難し
此の如く金は世界の人にして、之
に思ふ寄する嗜好人のみにあらざ
るなり。然るに此美人、偶然の事よ
りして、近來多く我國に歸属し來れ
り。此點は本に公の臣にして、金本體の性質なり
のなりと云ふ、米を以て「白がれ」といふは、
こゝろ中、取つたる金の體を三十兩、女子に與へ
に米を食ふと云ふ、米より其しおもしろし、
そから白の色に染ありとあり(後述)

同氏の先夫人將軍と再婚せられたるも
其夫人の命は、
と云へし、又此時其米が説する
に米を食ふと云ふ、米より其しおもしろし、
そから白の色に染ありとあり(後述)

白銀金去玉寒飢
雷侍人張命遠可救
夜半

景人

んと銀を觀するものあれども、吾人
之に興せず。更に恐るべきことあ
貿易上よりする金の流出、即ち是
り。若し一朝今日獲得せし金の用
を誤るあらんか、直ちに物價の騰貴
となり、爲替の逆となり、數億の
も隣國にして往々に消失せんのみ
否更に進んで、既に有せし金も流
せんのみ。今日より經濟狀態幼稚
なり。明治二十一年に於て、一億
千二百萬圓の金を、

○吾輩が下に我先して日露同盟を
張通したるは歐洲の實情特種主義者
國の親善結合を加へたるにより
其の必要を感じ得たることを以てあら
ず、今歐戰に際するこそ是れ日本露
久の平和を維持せんことを日露の
同盟を必要とするに在りたりき
○吾輩が既に幾度も繰返へせし如く
日露同盟締結の目的は兩國相續り相
合して他の勢力に抵抗し又は防禦せ
んと欲するにあらず、其の二大勢力
を一束として滿蒙及び支那に於ける諸
事を解決し以て極東の平和を永遠
に保持せんと欲するに外ならず然り
○國家が獨立して頼む所の唯一の武
器は要塞にあらず、統帥にあらず國民
の實力に在り如何に要索堅固なるも
鉄砲新銃なども國民の實力缺乏せば
彼等は何の用をもなさざる也、我々
や他國の力を頼まんぞ欲するものに
於てをや

○故に露國は若し已むを得ず露韓間
かざら可からざる敵國ありとせば國
民の實力に信頼するの外なきなり豈
日露同盟力を借らんと欲するが如
き依頼心あらんや

○世人或は云ふ東洋の平和を維持す
るの目的に對しては既に日英同盟のある
あれば此の上更に日露同盟の必要
はなかる可しとされど日英同盟にて
は支那に於ける藩閥問題を如何にと
するこ能はば此の諸事案を解決し
て無事平和ならしむるには日露の同
盟非だ必要なり日露同盟は實に日露
兩國の利益のみにあらず支那の利益
ともなり又列強の利益ともなる也

○若し往年露國をして日本を理解す
るに今日の如くなりしれば極端た
るに日露戦争は開始するに及ばざらん
は勿論其の同盟は英國に先つて成立
せしやとも知る可からず蓋し是れ日本
の讀者中興に熱心唱進したるものな
れば也

○然るも日露戦争前に露國をして日
本と提携的對等同盟を締結せしめよ
と云ふとは頗る困難なる注文なりし
ならん何となれば露國は自ら世界の
第一の大國と自認し、二大國が

早稻田大學講義錄

新學年開始——大隈總長高山名譽學長指導——三十三營餘年講義大革新

[illegible]

沙汰ありたるが尙三百餘名の**大禮**に達したり（東京持電）

て敵軍塹壕の連絡線、
山さしめたりヴェルダンの

購買力撤退し移入品の賣入抄々
ち只燐寸石油等の如き價額暴

其の取れる見込は無いから此巨額の軍費を
 せ各國各自が 永久の負擔となるに相違な
 ずから戦争は恐ろしいものである。

振替東京三六三〇番 大

本新聞學會出版

(158)

須藤南翠作
簡井年峰

A black and white illustration of a man in traditional Japanese clothing kneeling and looking towards a large, decorated wooden box or chest. The man is wearing a dark kimono with a light-colored patterned sash. He is kneeling on a light-colored mat. The wooden box is decorated with a circular motif and has a handle. The background is plain white.

日本
 印シカガマ
 宮内省御用
 最上清酢

 香五四二諸
 社會式材油皆本
 張出城
 所
 京

「爾う申せばこそ、天下を望む五郎左ではない、彼奴には織田御恩を存する外、天下に心のない事を、知つての上の謀計や。假令畀むたら読める可からう。唯だ三日も保たぬうちに、天下はまた亂れるばかりや。其様な遠慮は入らぬ事よ。随分減じやかに申すぞや。」

「**読者の注意**」を要し上げぬ。うかか、眼昏めは立

所に全治します（観面生）△三日前

の事本町で喧嘩の事件は新聞に御出

しに載りませんが、神道吾坂の變つた

出来事は鬼附「大廳を吠ゆれば萬

大驚を懼ふ」てなもので大がきな

時々に呼を生んで居ますよ（社會の

主人）△本質ホテルにて浮れた其處

金に何
 朝鮮總代理店
 (日鐵造) 京橋本町二丁目
 特約店 京橋本町

八萬手筆

電話四五〇二七
町田商店

釘本藤次郎本店

[illegible][illegible]

「越路にはまだ雪おざりませう、病
 隠の發與いかゞかぞ存せられまする
 が、御誼に依つては、彦右衛門仕
 らぬでもおぞらぬ」

「強て頼むぞ。先づ神文のせう。なり
 靈社の起請文を送らう。我等に二心

ど、若し御望みのあつた節は、御譲りなされうとてか
「あつは、はいはい、彦右、直帯が緩んだぞ。誰がこの天下を渡すものか。知れた事は申さぬものぢや」
秀吉は腰を抱へて笑つたが、また

期講習會に於ける講話筆を編輯したるもの
家庭の悦及び社會の三方面に於ける幼児の發
達に就て詳述しり (八十餘東京市本區内
片町一丁目五五番)

各國時計
附屬品種
貴金屬美術品
眼鏡類一式
統

念
松浦時計店
電話四九番
支店

りん病ばい毒
思君
京城、平壤
其他到偽物
とる好商あり購せる所に標印は
意を乞ふ眞正なる吾社の製藥には
縮大阪合資會社ドラッグ商會
田鑑製記人並し物より此の

| | | | |
|----|-------|------|----|
| 吉丸 | 三月初九日 | 午後四時 | 出帆 |
| 有丸 | 三月廿二日 | 午後四時 | 出帆 |
| 代丸 | 三月二十日 | 午後四時 | 出帆 |
| 代丸 | 三月二十日 | 午後四時 | 出帆 |

近しい例しが柴田に遣された起請文
おはさるゝは、は、は、彼れは双方の空論
交はり勝家は事が消えるまで、我々
等に成皇が旋を果けるまで、急度禱
文を宇つたてた

「其上の御謔、神交に渥いだ血の、
生る死ぬるは、唯そればかりわざり
まする」

「さらばや、某方五郎左に逢つて
申さうには、秀吉が唯今天下に備へ
り申し上事は、先度も申し上如く、
假令は秀吉もおおよざる。此上は貴所
と天下を交代して持ち申すやう致さ
うと存じ申す。されば貴所は大向
に御入り在らせられう、某は貴所に
代つて越前に罷り下り申すでおざら
う。鬼にも角にも、貴所と某にと
斯くまで致した天下を、餘人に渡す
事は、口惜しき機ではおあらぬか。
此等の事も直々申し談じたく、是非
大坂へ御入り爲させられい。な、何

入院隨意診察夜九時迄

皮膚病 疥癬 瘡毒 淋病 梅毒 性病
生殖器器 膀胱病 淋病 梅毒 性病
機能障礙

東京明治町二丁目
佐藤藤次郎(電話一七三番)

日曜祭日午後二時迄

うちや、是れでも得心致すまいかの
秀吉は額をさしつけて、右の如
の事を言つた。正勝もその大膽な言
實に、流石おいそれとは受けられな
かった。

「勿論平賀様天下の器におなりませむと

[illegible]

頼まれた友の苦心を知る友ぞなし」
 (愚智) (旭町一、二丁目を中心とし
 て四五丁以内の處に義太夫師匠の良
 いのはごとなてすか御教示を乞ふ
 (旭一太夫) (毎日各々住んで居る所
 の面白きこと又時には宗教的お伽
 此の數に戰軍の活動臺一口に言へば
 ボンチの様か物を新聞に記載し幾分
 かつ世の中の人心を商例に且且
 愉快に日々の業務につく事の出来る
 様に御奨め致します其欄を兄弟姉妹
 館で召づけては如何ですか美容生
 (未知知致しました(係) (清華亭附近
 の飲食店では毎夜底振騒ぎをして近
 所の迷惑一通りでない少しは注意せ
 う(近所生)

新書御案内


各書定價

生物學講義 諸君外紙 四五〇
 進化學 原 諸君外紙 一五〇
 動物學計算原理講義 諸君外紙 九〇
 算術 關 諸君外紙 八五
 文字の訓練 諸君外紙 七五
 人生の要 諸君外紙 七〇
 信念の發 諸君外紙 七〇
 自衛法を買わねば法廷は太極 七〇
 陸海軍人物史論 安井道太郎 一二〇
 諸君外紙 減二
 選 諸君外紙 六〇
 心の 諸君外紙 九五
 キツブリング短編小説原稿 諸君外紙 五〇
 金探險 諸君外紙 五〇
 名 諸君外紙 五〇
 伊達屋 諸君外紙 五〇
 女の名うらもて 諸君外紙 九五
 世界の名士の辨 諸君外紙 四五

大阪屋號書店

原町本町 電話二八〇人形御堂筋七五三

熱心誠實に事務を
辯護士 佐五



京都本
金銀
賣

米穀商 晉州城
間

優良種子
純正苗木 販賣
營業案内進呈

水原貯車

婦人科
産科
監應院分院入
京城旭

外
島佐七郎商店
電話五三番

御津灘
大塚釀造所吟製
前二丁目
前田酒店
電話一三七番
振替口座四二五

取扱ふ
堀池常作
事務所
大邱府南龍岡町

前
國園
主任農學士北澤小八郎

高臺丁目
中央婦人病院
院長 衣笠茂
(電話三三四〇番)

[illegible][illegible]

第二十五期
 新學期
 小學校卒業生
 中學校同様の學力を得らるゝ中學講義録
 大日本國民中學會
 學制改革學年短縮を斷行し講義録全部を刷新改版し新學期

講義 見本 規則 書 進呈 開
 學 學 學
 會 會 會

| | | | | | |
|--------------|---------------|--------------|--------------|---------------|---------------|
| 文舉博士 遠藤隆吉 | 文舉博士 三宅雄二郎 | 文舉博士 浮田和民 | 文舉博士 岡田良平 | 文舉博士 和田垣謙三 | 文舉博士 新渡戸稻造 |
| 講義 第一 | 講義 第二 | 講義 第三 | 講義 第四 | 講義 第五 | 講義 第六 |

十五回新學期開講
 錄大改良記念とし
 際至急入會者には
 全免
 送呈
 除等
 大特典の外
 獎學金
 呈す至急申込あれ

[illegible][illegible]

りん病はい毒患者

京城平壤其他到偽物
意を好む者上眞正なる若し製造に御
徳大阪合資會同社ドラッグ店此の
有田鑑製一切他店無きあり此の
支那に於て直接左記の店に取次ぐ販賣
不都合ある月四日及九日の京成電
御愛あれば詳報ある

京城南大門外停車場

ラッダ商會本部

電話三五六七番東京市西區六丁目五番地
全通小町三丁目三番地
山手町三丁目三番地
内河町三丁目三番地
反町三丁目三番地
以上各店に於て君が私欲を満すべく

[illegible]